

令和6年能登半島地震被災地への市民病院からのDMAT派遣について

横浜市立市民病院は、令和6年能登半島地震に伴いDMAT（災害派遣医療チーム）事務局による要請に基づき、医師、看護師、臨床工学技士等を派遣します。

1 活動概要

派遣期間：令和6年1月11日（木）夜～1週間程度

活動内容：医師、看護師等医療職による被災地における患者搬送や治療
被災地外への重症患者の搬送等

派遣職員：5人（職種 医師1人、看護師2人、臨床工学技士1人、事務1人）

派遣先：石川県珠洲市

2 出発式

日時：令和6年1月11日（木）午後4時30分

場所：横浜市立市民病院管理棟（横浜市神奈川区三ツ沢西町1番1号）

※取材は可能です。

現地での取材をご希望される方は、市民病院のお問合せ先まで直接ご連絡ください。

お問合せ先	
市民病院総務課長 木村 洋	Tel 045-534-3610
医療局病院経営本部病院経営課長 星野 公孝	Tel 045-671-4816